

TOTO

施工説明書

ウォシュレット® 一体形便器(便器部)

必ず実施	2
安全に関するご注意	3
取り付け前のご注意	3
同梱部品の確認	4
施工手順	4
各部のなまえと施工のポイント	5
取付方法	5

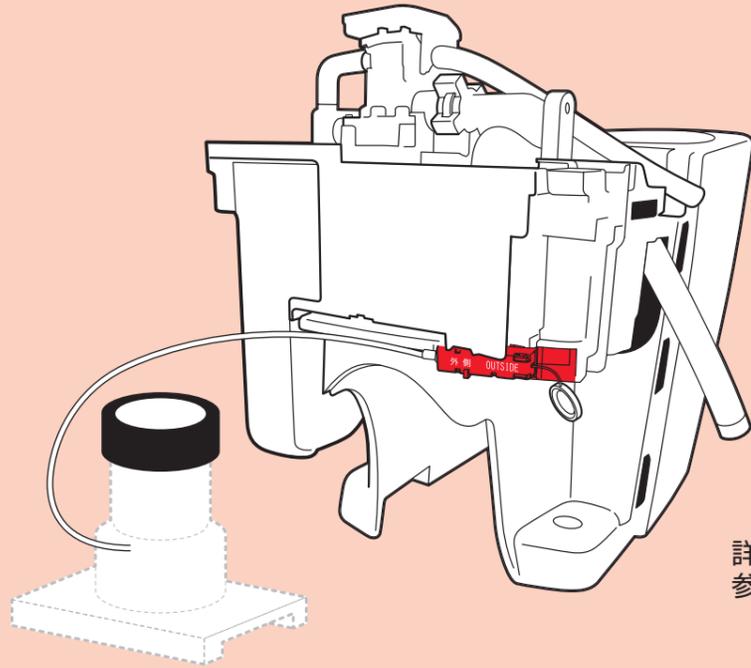
■工事内容に応じて指定のページをご参照ください。

◆ “ウォシュレット” はTOTOの登録商標です。

**必ず
実施**

商品の機能が十分に発揮されるように、
この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

**便器を排水ソケットに取り付ける前に
手動レバーを取り付けてください。**



詳細は8ページ **6** を
参照ください。

停電時に使用するため電池ボックスは取り外さないでください。



※袋のヒモが切れてしまった場合は、もう一方の穴に通して取り付けてください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、
いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

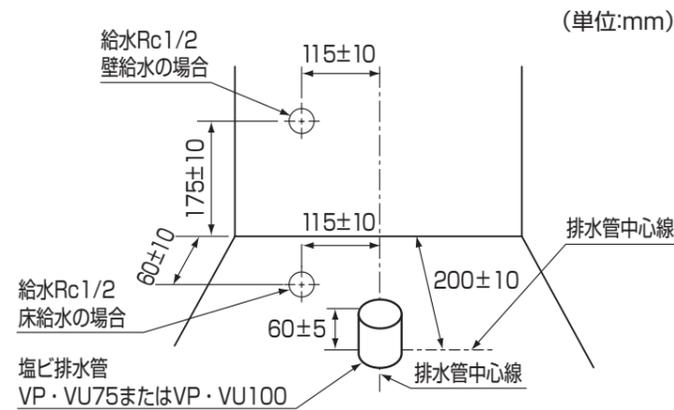
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	------------------------------------	--	---

⚠️ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
	禁止 便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないと水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 浴室など湿気が多い場所に設置しない 火災、感電、発熱、ショートの原因になります。
	必ず実行 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

取り付け前のご注意



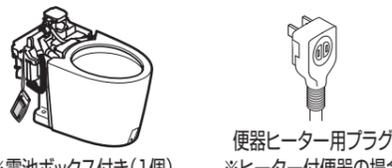
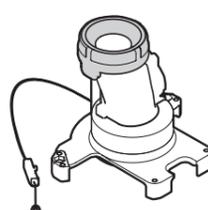
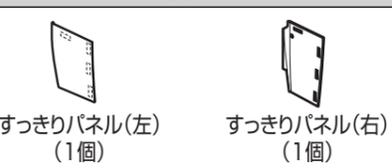
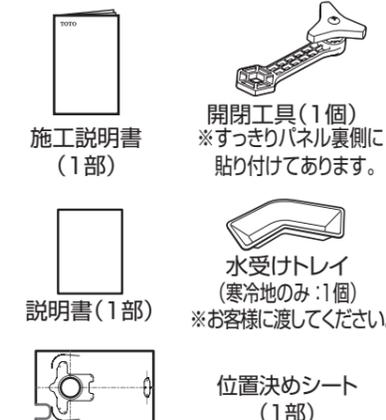
⚠️ 注意

必ず実行 排水管の立ち上げ寸法が55mm未満の場合、立ち上げ用アダプター HHO1001R(オプション)を使用する水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

立ち上げ用アダプター(別売品)の施工方法についての動画はこちらから確認できます。
※通信料がかかります。

- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようご注意ください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- 後ろ壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。(棚、収納キャビネットは下端 FL+1400mm以上を目安としてください)
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。所定の位置にない場合、商品が正しく取り付けられないことがあります。
- 排水管が床面と同一でカットされている場合は、60mm 立ち上げ用アダプター (HHO1001R) をご購入ください。
- 電源は交流 100V(50/60Hz)、定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体同梱の施工説明書をご確認ください。
- 便器(ヒーター付の場合)：電源コードの長さは、約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa(10L/分)、最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- ヒーター付便器、水抜き方式の場合は、給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けてください。取付方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。
- 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。

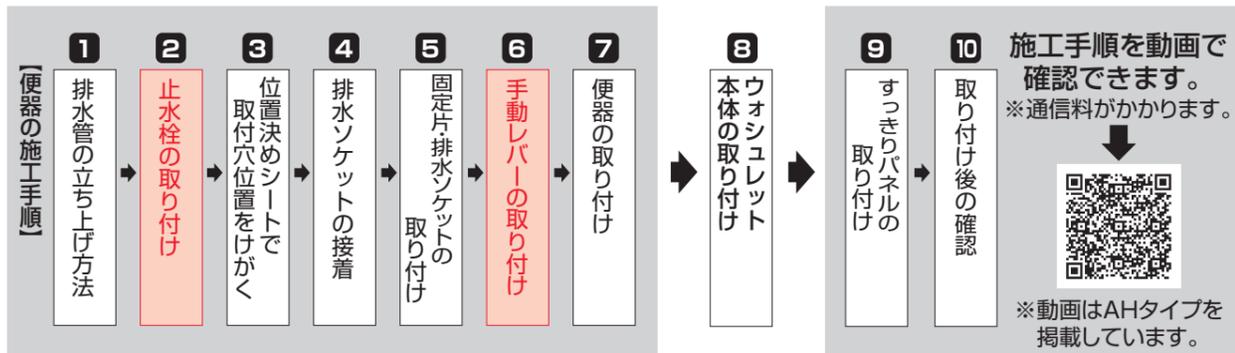
同梱部品の確認 ※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体		排水ソケット	固定片
 <p>便器本体 ※電池ボックス付き(1個) 便器ヒーター用プラグ ※ヒーター付便器の場合</p>		 <p>排水ソケット (1個) ※ゴムジョイント 手動レバー付き</p>	 <p>固定片 (1個) 接着ブロック (1個) 木ねじ(φ5×40:2本)</p>
<p>すっきりパネル</p>  <p>すっきりパネル(左) (1個) すっきりパネル(右) (1個)</p>			
給水金具		固定金具類	その他
 <p>クイックファスナー付エルボ(1個) 止水栓 (1個) ストレート管 (1個)</p> <p>※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。</p>  <p>パッキン (1個) ふさぎシート (1枚)</p>		 <p>六角ボルト (2本) 止め金具 (2個) ナット (2個) ワッシャー (2個) 木ねじ(排水ソケット用) (φ5×50:6本)</p>	 <p>施工説明書 (1部) 開閉工具(1個) ※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。 水受けトレイ (寒冷地のみ:1個) ※お客様に渡してください。 位置決めシート (1部) 説明書 (1部)</p>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

施工手順

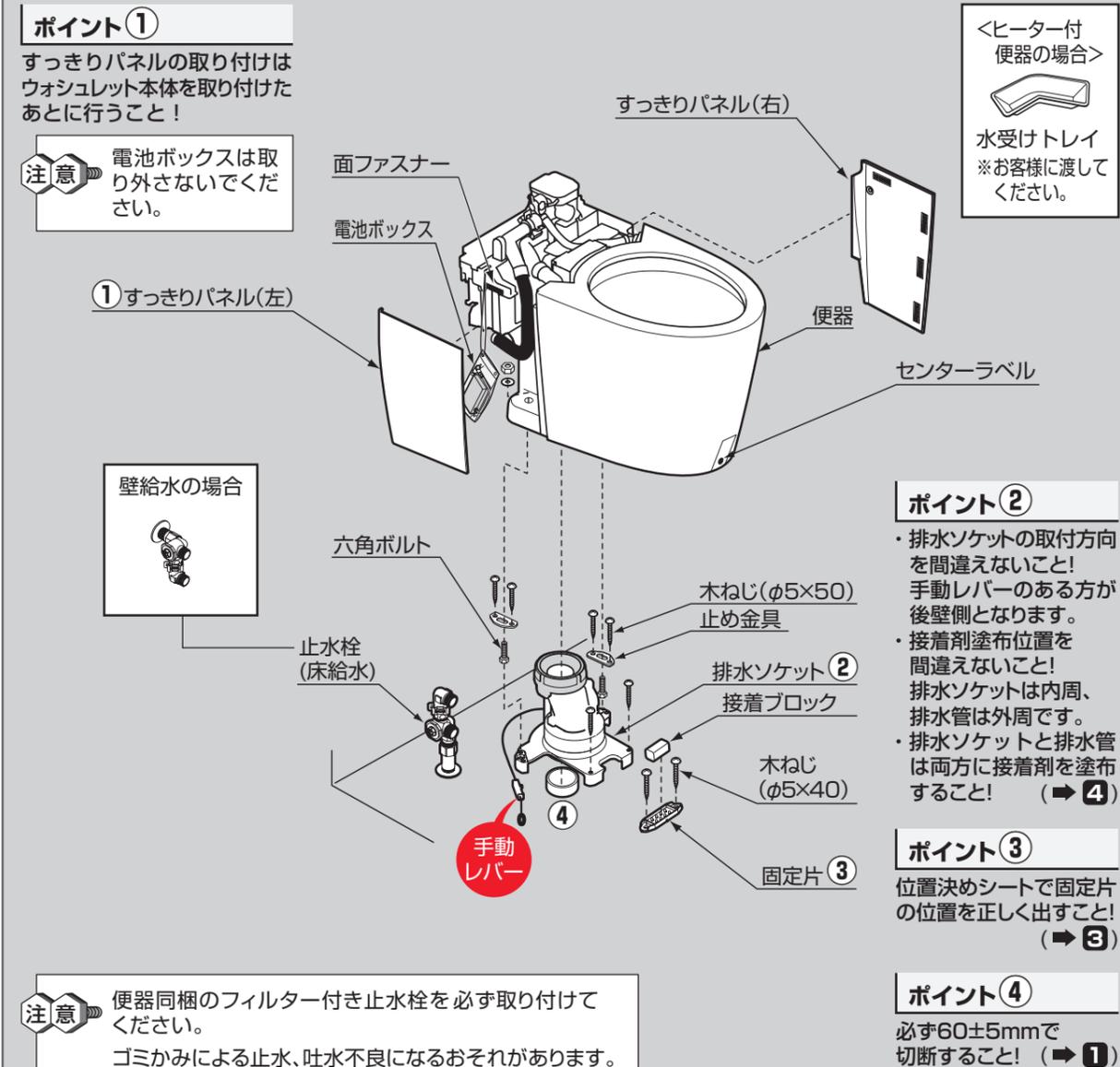
この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。
( は本紙、  はウォシュレットの施工説明書を参照ください)



※大便器背面カバー(別売品)の取り付けは、11ページをご確認ください。

施工手順

各部のなまえと施工のポイント

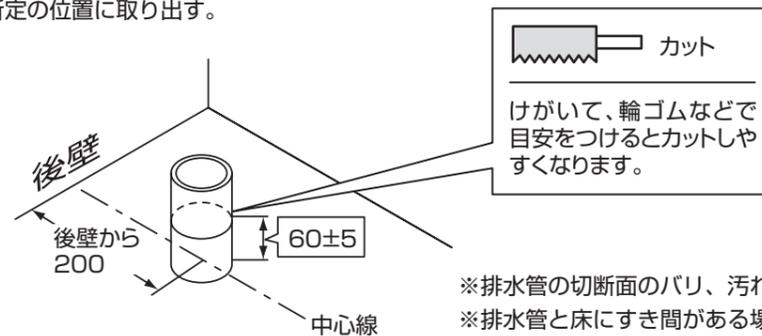


取付方法

1 排水管の立ち上げ方法

(単位:mm)

排水管を所定の位置に取り出す。



※排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去してください。
※排水管と床にすき間がある場合、防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)にて充てんしてください。
階下に水漏れが発生するおそれがあります。

2 止水栓の取り付け

止水栓を所定の位置に取り付ける。

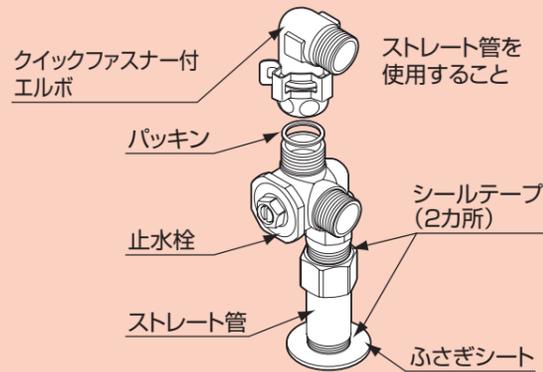
施工手順を動画で確認できます。▶▶▶

※通信料がかかります。

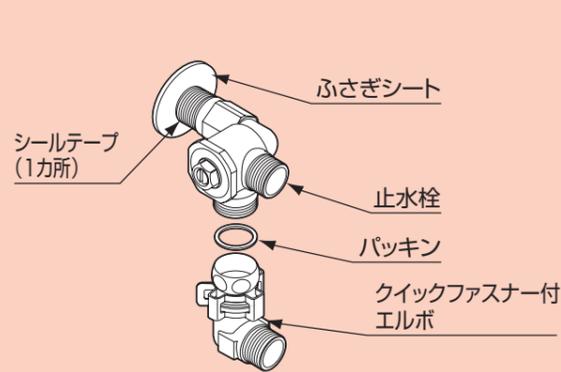
※動画はAH/RH/DHタイプを掲載しています。



床給水の場合



壁給水の場合



接続口は正面に
まっすぐ向ける

六角形部を真横に
向ける

六角形部を真横に
向ける

接続口は正面に
まっすぐ向ける

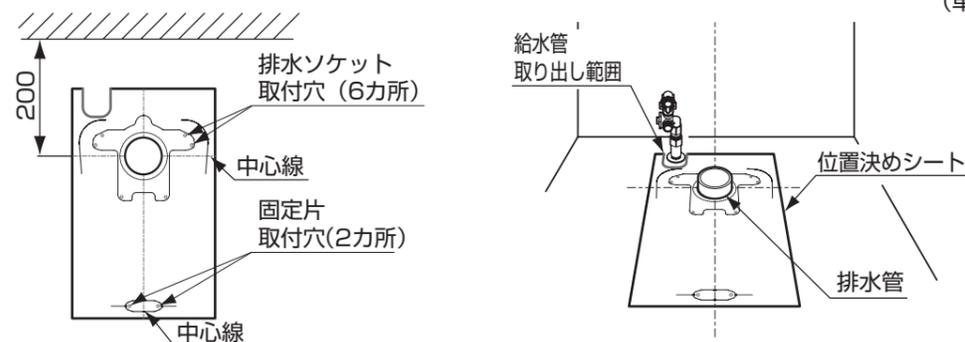
・ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。
※取り付け時、止水栓の向きに気を付けてください。
※ストレート管と床にすき間がある場合、防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)にて充てんしてからふさぎシートを取り付けてください。
階下に水漏れが発生するおそれがあります。

注意 便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

3 位置決めシートで取付穴位置をけがく

- 位置決めシートを排水管の中心線にあわせ床面に置く。
- 給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
- 排水ソケット取付穴(6カ所)、固定片取付穴(2カ所)をけがく。
- けがいた取付穴にφ3程度の下穴をあける。
φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

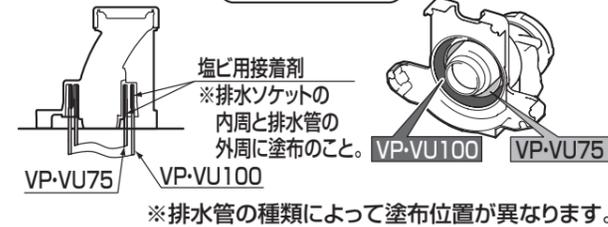
(単位: mm)



4 排水ソケットの接着

- ①③でけがいた位置に排水ソケットを置き、前後を確認する。
- ②排水ソケットと排水管の接着部に塩ビ用接着剤を塗る。
- ③中心線に合わせ、排水ソケットが床面につくまで排水管に押し込む。

接着材塗布位置



注意

注意 接着剤塗布位置を確認する
塗付位置を間違えると水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

必ず実行 接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

排水ソケットは下面が床面につくまで押し込む
押し込まない場合、排水ソケットの固定時に破損するおそれがあります。

注意 ・取り付けの際、床と排水ソケットでワイヤーを挟まないようにご注意ください。
・一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。

5 固定片・排水ソケットの取り付け

- ①排水ソケット後固定部(2カ所)に六角ボルトを立て、止め金具を通したうえで、木ねじで床(4カ所)に固定する。

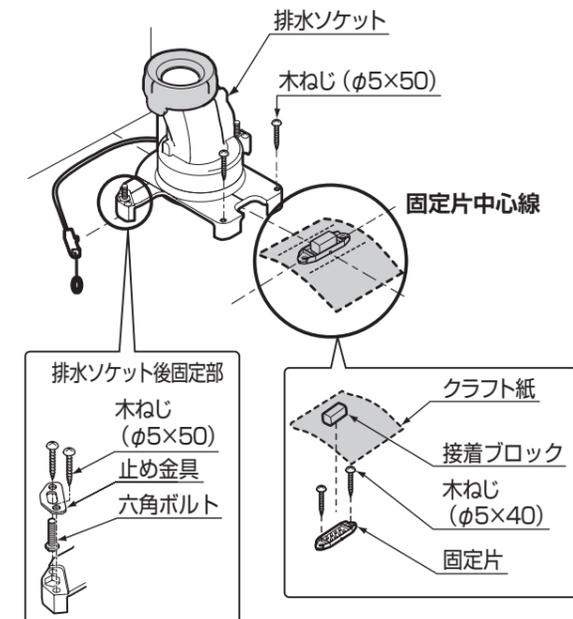
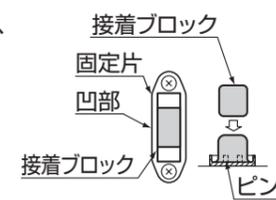
注意 ・排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む
・確実にめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

- ②排水ソケット前側(2カ所)を、木ねじで床に固定する。
- ③固定片を中心線にあわせて、木ねじで床(2カ所)に固定する。
・床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。
- ④接着ブロックをクラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、指で軽く押す。

<接着ブロックについて>

・施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。
・接着ブロックの方向性は特にありません。
・気温が下がると接着ブロックが固くなる場合があります。
このときは、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

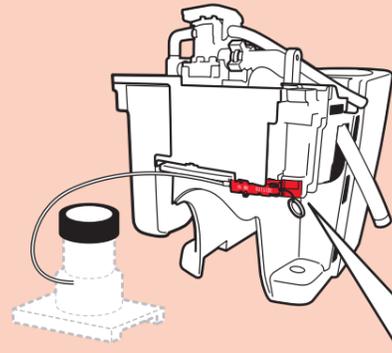
・詳細は、接着ブロック同梱の注意書を参照してください。



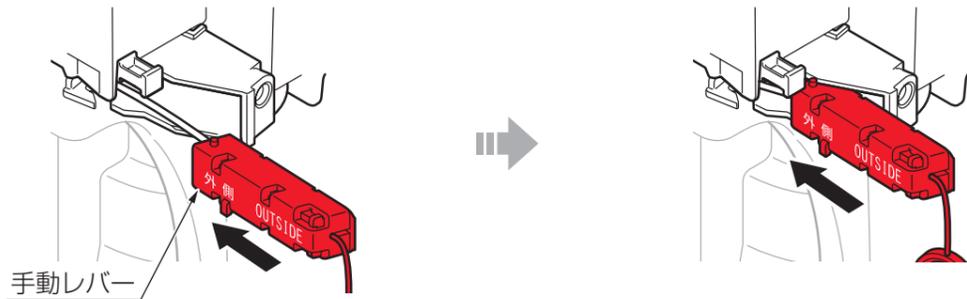
6 手動レバーの取り付け → 7 便器の取り付け

施工手順を動画で確認できます。

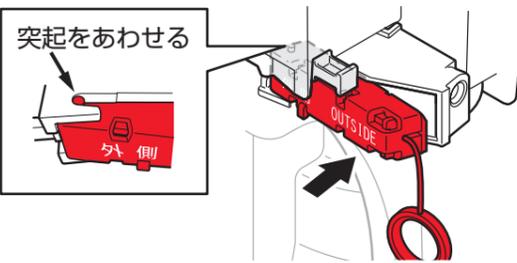
※通信料がかかります。
※動画はAH/RH/DHタイプを掲載しています。



手動レバーの向きを確認して横にスライドする



突起をあわせる



カチッ

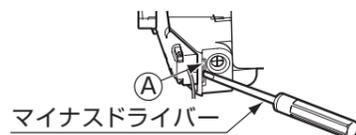
※取り付け後、手動レバーが外れないことを確認してください。

電子音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合



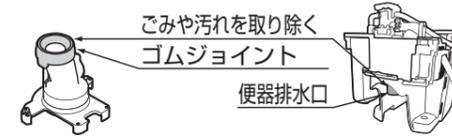
<手動レバーの取り外し>

マイナスドライバーなどを図(A)に挿入し、ロックを解除して取り外してください。



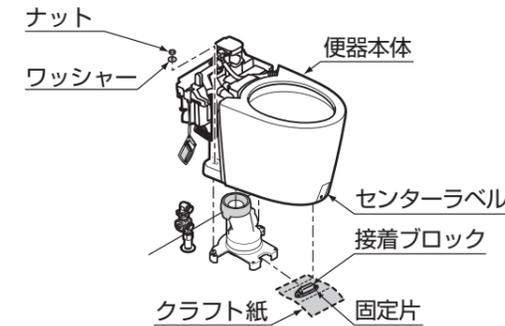
7 便器の取り付け

1 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。



2 便器排水口を排水ソケットに差し込む。

- ・便器の持ちかたは右下図を参考にしてください。
- ・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。



3 センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。

4 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。

5 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。

注意

センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。便器が床につくまでしっかり押さえてください。

6 便器の取付穴(2カ所)をナット、ワッシャーで固定する。

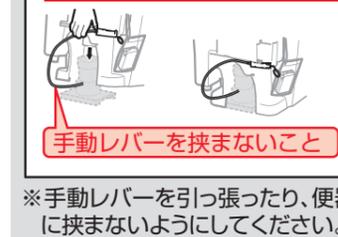
注意

ナットを確実に締めてください。ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。

ポイント

目安として壁から10~15mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。※壁に傷がつかないように差し込んでください。

手動レバーの取り回しかた



※手動レバーを引っ張ったり、便器に挟まないようにしてください。

便器の持ちかた

注意

機能部を持つと破損するおそれがあります。



8 ウォシュレット本体の取り付け

※取付方法・操作方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

1 ウォシュレット本体を取り付ける。

2 便器に水が流れているときは、電源プラグをコンセントに差し込む。

- ・電気工事が未完了のときは、電池ボックスに乾電池を入れて、電池ボックス用コードをプラグ差し込み口に差し込んでください。

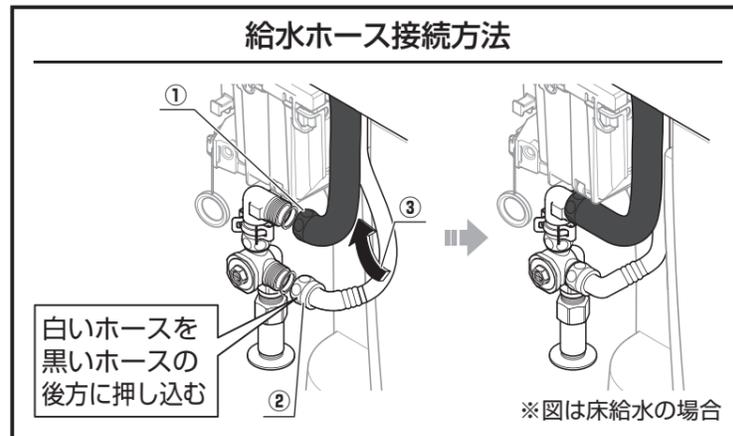
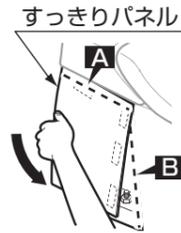
3 手動レバーの動作を確認する。

- ・ウォシュレット本体の試運転を行った後、動作確認を行ってください。

取付方法

9 すっきりパネルの取り付け

すっきりパネルを図Aと図B(点線)にあわせてすき間が目立たないように取り付ける。



- ・面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえて、すっきりパネルが外れないことを確認してください。
- ・すっきりパネルにすき間や浮きがある場合は、上図を参考に給水ホースの接続方法を確認してください。きちんと取り付けしない場合、すっきりパネルが外れるおそれがあります。詳細は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

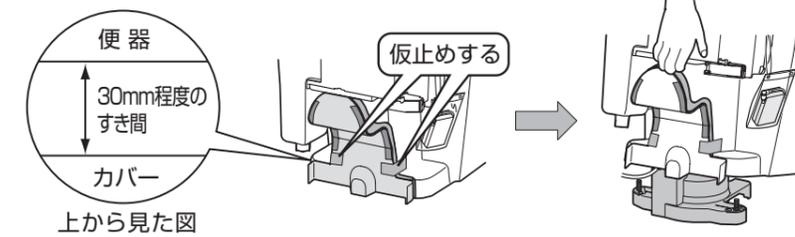
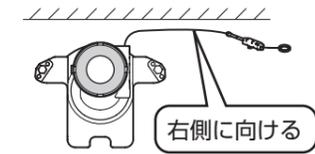
10 取り付け後の確認

- ・試運転(洗浄)後、便器ポウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷がないことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- ・施工したあとは、便器ポウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ポウル面の洗い残りの原因となります。
- ・陶器とすっきりパネルの間に目立ったすき間がないこと、浮き上がりがいいことを確認してください。きちんと取り付けしない場合、すっきりパネルが外れるおそれがあります。
- ・試運転後はすべての接続部において水漏れしていないか確認してください。取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

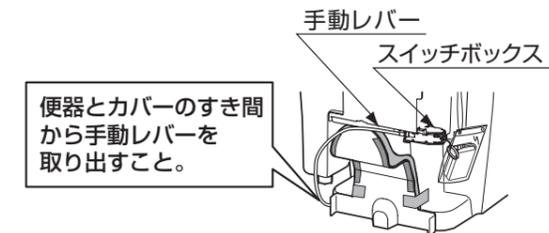
大便器背面カバー(別売品)の取り付け

※取り付けが必要な場合のみご確認ください。

- ①大便器背面カバー同梱の施工説明書に従って①~②まで作業する。
- ②固定した排水ソケットの手动レバーを右側に向ける。
- ③カバーを仮止めしたまま、便器排水口を排水ソケットに差し込む。
 - ・仮止めの際、手动レバーを通すために便器とカバーのすき間を30mm程度あける。



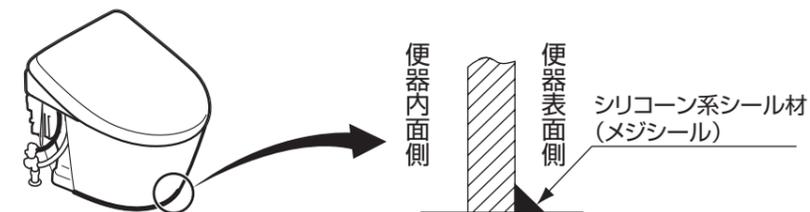
- ④手动レバーをスイッチボックスに取り付ける。
- ⑤すき間がなくなるようにカバーを取り付ける。



- ⑥大便器背面カバー同梱の施工説明書「便器の取り付け(つづき)」に従って作業を行う。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)を塗布することをおすすめいたします。



※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。